



日本慢性期医療協会 令和3年度介護報酬改定説明会 開催案内

新型コロナウイルス感染症の収束は未だ見通しが立たず、私たち医療界にとっても厳しい状況が続いております。皆さまのご苦勞はいかばかりかと心よりお見舞い申し上げます。

さて、令和3年度介護報酬改定が目前に迫ってまいりました。2025年には、医療・介護の対象者が約750万人になると予測される中、地域包括ケアシステムの整備に向けて、これまでの診療報酬・介護報酬の改定ごとに様々な施策がとられてまいりました。これからの時代に地域で選ばれ生き残っていくためには、医療中心でも介護中心でもなく、入院・入所の施設系サービス、在宅に向けた通所・訪問系サービスなど、対象者の状態によって医療や介護の提供量や比率を変えながら、一人ひとりと長く関わっていく体制を整えていくことではないでしょうか。

平成30年に創設された介護医療院は現在、全国で約600件を数えております。介護医療院は生活をベースに、医療をプラスした看取りにも対応できる施設です。この施設をどのように活用し、発展させていくかは慢性期医療に携わる私たち次第です。会員各位におかれましては、医療はもとより老健などの介護保険事業所も含めた多機能型の運営をされておられることと存じます。また、たとえ介護保険サービスを運営されていなくても、介護保険との連携は必須であり、その仕組みや方向性を知ることはこれからの運営には欠かせません。

本介護報酬改定説明会は、オンラインで無料開催といたします。是非皆様でご視聴くださいますようお願い致します。「良質な慢性期医療がなければ日本の医療は成り立たない」を掲げ、会員一丸となり真摯に慢性期医療に取り組んでまいりましょう。

WEB 配信

日時：令和3年3月8日（月）より配信開始（予定）
視聴費：無料
視聴方法：3月上旬に日慢協ホームページにアップ致します

<プログラム>

（敬称略）

	講演内容（1講演あたり60～90分）
講演1	令和3年度介護報酬改定の概要 真鍋 馨（厚生労働省老健局老人保健課課長）
講演2	慢性期医療の方向性 ～慢性期医療を軸とした多機能型への転換を～ 武久洋三（日本慢性期医療協会会長）
講演3	在宅生活をささえるリハビリテーションを強化しよう 橋本康子（日本慢性期医療協会副会長・社会保障審議会介護保険部会委員）
講演4	レベルアップで加算を算定しよう 田中志子（日本慢性期医療協会常任理事・社会保障審議会介護給付費分科会委員）
講演5	介護医療院の活かし方 鈴木龍太（日本介護医療院協会会長）